

神奈川私学保連 NEWS



神奈川県私学保護者会連合会 会長 市川 昌 廣

(横浜学園中学高等学校後援会会長)

私たちの願い

常日頃、本連合会の活動にご理解と多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。6月の総会において執行部の役員が改選され、本年度も微力ながら会長という重い役をつとめさせていただくことになりました。再任役員、新任役員ともどもがんばっております。この1年、今までにも増してご協力をいただきますよう、何卒お願い申し上げます。

さて、昨今、国内事情も海外事情も予断を許さぬ情勢になっており、誰もが大変憂慮されているところであります。国内では政治の停滞や各種産業の低迷、加えて東日本大震災から1年半あまりも経過していながら、未だに被災地域の街づくり、復興計画や復興住宅の実現が滞っております。

海外事情に目を向けますと、日韓・日中問題が逼迫しているにもかかわらず、政治の混迷により、一向にその解決策すら見いだせない状態が続いております。

私たちは直接、政治に関与する立場にありませんが、私たち保護者は直接、子供の未来を案じなければならぬ立場にあります。この状況が続くことが心配でなりません。

最も注目される電力問題にしても将来

の見通しがたっておりません。時には、「原発に頼らない」といういくつかの代替電力案が発表され、思わず明るいニュースかと期待するのですが、電力供給側の事情もあり、その案も尻すぼみになってしまう状況です。騒音被害が広がらないよう海上に風力発電を設置する計画案があるようですが、海上施設費や海上から陸上への送電費用が、従来施設よりコスト的に25%も上がってしまうという問題、日本の至る所にある火山の熱を利用する地熱発電は、比較的成本を抑えることができるようですが、こちらは温泉が枯れてしまうと心配する温泉旅館組合との調整が難航しているようです。どちらにもそれぞれの事情と立場があり、早急に容易に解決することは難しいと理解しますが、日本の子供たちの未来のためを思い、熟慮に熟慮を重ね、早い時期に解決策を見いだし実行してもらいたいと切に願うものです。

ところで子供が私学に通う保護者として私たち連合会は、毎年、私学経常費助成金の増額を国と県にお願いしております。私学経常費の増額は学校運営の安定化をより強力なものとし、それに伴い保護者の負担をより軽減することにつなが

るものです。本年度も9月に、本県中等高等学校協会の工藤理事長先生並びに役員の先生と私たち執行部の役員が県庁に集い、要望書を直接、県会議長にお渡ししてまいりました。12月には、恒例の私学振興全国大会が日比谷公会堂で催されます。ご承知のようにこの大会は、国会議員の方々に私学の現状を再認識していただき、私学経常費助成費等のさらなる増額をお願いする一大イベントです。本年度も保護者の皆さん方のご参加について、後日ご案内させていただきます。

一方、私学保護者の活用を対象とした私学学費補助制度の拡充についても、県や国に強くお願いしているところです。この制度は、公立高校の授業料無償化に伴い一部が改定され、または新しくつくられた私学の保護者のためのものです。本紙4月発行号で特集記事を組みその活用方法をくわしく案内しました。しかし活用されている保護者は、私立高校全体のまだ30%でしかありません。この制度をよく知っていただき、もっと多くの保護者に活用していただきたいのです。

私たちが子供の頃の国内外の情勢はどのようなものであったでしょうか。今と同じように世界各地で戦争がありテロがあり、国内政治も変わらず混沌としていました。ただその頃は、日本経済が上昇軌道にのっていましたので、今より国民生活が楽だったように記憶します。しかしこれは、私たち日本人だけが錯覚していたような気がしてなりません。

平成24年度

「定時総会」の開催

～これからの私学の発展のために～

平成24年度「定時総会」は5月25日（金）に開催されました。神奈川私学（小・中・高）の保護者会連合会への加盟校は88校で、総会には委任状を含め54校、98名が出席しました。

最初に市川昌廣会長が挨拶し、次に来賓として私立中学高等学校協会の工藤誠一理事長からご挨拶をいただきました。議事に入り、平成23年度事業・決算報告と平成24年度事業計画・予算が原案通り承認されました。

次に、小川肇推薦委員長より今年度の役員改選について提案があり、11名の役員（理事）が承認されました。今年度は2名の方々、星野俊則理事・会計理事（9年）、腰山浩子理事・監事（3年）がご退任され、新たに市川千恵理事（武相中学高等学校）が就任されました。ご退任された方々には、長年のご功績に深く感謝を申し上げます。

また、今年度の役員（理事）の皆様には公私ともにご多用の中を、役員（理事）をお引き受けくださり、ありがとうございました。神奈川県私学保護者会連合会の加盟校、会員の皆様には、これからも本連合会の諸事業のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

●来賓あいさつ



子どもたちを導く教育

一般財団法人 神奈川県私立中学高等学校協会

理事長 工藤 誠一

（聖光学院中学高等学校理事長・校長）

日頃より私立学校にお子様を通わせていらっしゃる保護者の皆様には、多大なるご協力ご支援を神奈川の私学に対しましてお寄せいただき心よりお礼申し上げます。本日は県私学保護者会連合会総会の開催にあたり一言ごあいさつをさせていただきます。

私自身も教職につきまして34年になります。「34年同じ学校にいる」これが私学です。公立ですと転勤があるわけですから、子どもたちが学校に戻ってきてても「自分の習った先生がいない」、私学の場合「まだ先生いたんですか」となるわけですが、行きようがないんですね、その私学にいるしかなかった。これが私学の子どもたちに「ぬくもり」を伝えていく教育の場として存在している証ではないかと思えます。

私の学校は根岸湾を臨む高台にあります。青葉が美しいこの時期になりますと、海からの南風が吹いてきます。一学期もちょうど半分を過ぎた頃ですので、この頃になると今年3月に卒業していった生徒のことを思い出します。ちょうど思い出したのが京都の大学に進学したS君と秋田の大学に進学したH君のことです。どうしてこの二人かというと、この二人は中一の頃から遠距離通学だったのです。S君は熱海から、H君は大宮から通っていました。中学入試以前

は、二人とも二時間もかけて通うとは予想もしていなかったと思います。それが横浜まで通学することになったわけです。

H君は入学した頃はいたずらばかりしていました。わざわざ遠くから通っていて毎日叱られてばかりいて可愛そうだなと思うほどでした。担任を困らせていましたが、サッカーが非常にうまい生徒で、他校からスカウトされるような子でした。

S君は少林寺拳法をやり、生徒会長もやり弦楽オーケストラでチェロを弾き、しかも皆勤で6年間過ごしました。そんな風に過ごした子たちが6年間の中高生活を経て、京都、秋田へと行くことは、多分これも予想していなかったのかもしれません。

私の学校はカトリックのミッションスクールですから、こんな言葉を同時に思い出しました。「風は思いのままに吹く。あなたは音を聞いてそれがどこから来てどこへ行くかを知らない。霊から生まれたものはみなその通りである」。これはヨハネ福音書の3章に出てくる言葉です。この1節は「人は思いのままに、形にこだわることなく自由な霊の息吹に従って生きている存在なのだ」ということと述べています。神様の息吹は気まぐれです。形にこだわることはないわ



市川理事(武相)
鈴木事務局長
小川監事(横浜商科大)
金子理事(高木学園女子)
佐藤副会長(横浜創英)
平山監事(横浜富士見丘)
市川会長(横浜学園)
深沼会計理事(横浜清風)
橋本顧問(前会長)
原理事(聖光学院)
玉園副会長(平塚学園)
大矢事務局長
山岸会計理事(立花学園)

平成24年度 神奈川県私学保護者会連合会 役員

役職名	氏 名	所属父母会（PTA）・役職名
会 長	市 川 昌 廣	横浜学園中学高等学校後援会会長
副会長	佐 藤 昭	横浜創英中学高等学校後援会会長
	玉 園 篤 敏	平塚学園高等学校父母の会会長
会 理 計 事	山 岸 篤 郎	立花学園高等学校PTA参与
	深 沼 昭 彦	横浜清風高等学校PTA常任顧問
理 事	原 大 蔵	聖光学院中学高等学校聖光会理事
	金 子 晃 久	高木学園女子高等学校PTA会長
	市 川 千 恵	武相中学高等学校後援会会長
監 事	小 川 肇	横浜商科大学高等学校PTA元会長
	平 山 圭 子	横浜富士見丘学園中等教育学校PTA 副会長
顧 問	橋 本 恵	神奈川県私学保護者会連合会前会長

武相学園は、6月に創立70周年を迎えました。記念事業の一つとして、第二校舎のリニューアルを行いました。生徒たちは、新しい学び舎で勉強することができ、喜んでおります。また、我が校はクラブ活動も盛んで、全国大会出場や国体神奈川県代表にも選ばれるなど「文武両道」の質実剛健の男子校です。

学園の建学の精神でもある「道義昂揚」・「個性伸長」・「実行徹底」は、まさに、今求められている教育です。学力向上はもちろんですが、課題にあたった時に、自分で考え解決に導き出



未来を担う

子どもたちのために

新理事 市川千恵

(武相中学高等学校後援会会長)

●新役員紹介

けですから、私たち人間では予想しきれない方向へと人々を向かわせることになるわけです。私たちは神様からこの世界へ派遣された存在でもあります。「たなごころ」の上で生かされているのが、私たち人間ではないかと思えます。そして同時に誰しもがこの世界に出てくるとき神様から一通の封書を預かってきているのです。誰もがその封書を開けるかどうかわかりません。その封書を開けずに一生を終える人が数多くいるのは事実です。封を開きミSSIONを遂行する、これは本人次第であるわけですが、そのための導きをするのが、私たち教育にたずさわる者の務めであると私は考えています。

また同時に、ご家庭でお子様を育てるのと同

じことではないかと思えます。家庭こそは人間を育成する原点であります。そうした家庭の中で「夢のない家庭はさみしい」「夢ばかりの家庭はむなし」と思えます。ともに家族が明日に向かって語り合う家庭こそが素晴らしいのではないかと私は思います。薫風に吹かれて、二人の教え子たちはそろそろ神様からの封書の中に気づき始めたであらうでしょう。今度上京した折には訊ねてみたいと思います。少しでも教育の役割について私の思っていることに触れさせていただきました。

今後とも変わることのない保護者の皆様からのご協力をお願いして、本日のご挨拶といたします。ありがとうございました。

す能力は、人間力として備えさせる必要があると思います。生徒たちの姿を見ると、切磋琢磨しながらも共に学ぶ中で、養われ、今後、社会にでたうえでの大切な宝物となり、個性の一つとなるでしょう。

中学・高校と多感な時期に成長していく子どもたちが、より良い環境の中で笑顔を輝かせるために、武相学園のPTAと後援会は常に協力しております。さまざまな行事を通じて親睦を深め、「武相男の子」のために、先生方と保護者が一緒に、活動しております。

この度、理事を仰せつかり、微力ではございますが、皆様にご指導いただきながら、私学保護者会連合会の発展と、未来を担う子どもたちのために、お手伝いさせていただきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

特別演奏会

平成24年5月25日 場所 ● ホテル・キャメロットジャパン

ピアノ連弾と穏やかな
歌声のコンサート

ピアノ 寒河江真弓さん

大塚 彩さん

ソプラノ 齋藤 希絵さん

●司会 小川 肇 理事

今回も特別な素晴らしいゲストをお招きすることができました。特別演奏会のリーダーをしていただきます寒河江真弓さんです。国立音楽大学を優秀な成績で出られ、ザルツブルグのマイスターを終了され、ドイツへの演奏旅行、あるいはウクライナへ行ったり世界を回って演奏旅行され、国内でも各地で演奏されており、近くでは定期演奏会を浜離宮（朝日ホール）で開催します。

それではピアノのスペシャリスト寒河江さんの素晴らしい演奏をお聞きください。

●寒河江真弓さん（ピアノ）

ピアノの寒河江真弓と申します。最後までお楽しみいただけるよう出演者 同心を含めて演奏させていただきます。本日の出演者をご紹介します。ピアノの大塚彩さん。大塚さんは大学で4年間同じ教授のもとで学んでいました。その後イタリアに渡り、ディプロマを取得、一昨年帰国し、東京でソロリサイタルを行いました。

一曲目はバッハの中でもっとも親しまれている曲の二つ「主よ人の望みの喜びよ」をお聞きください。

（演奏）

ありがとうございました。本日のプログラムは3部構成となっております。1部は親しみやすいクラシックを、2部はソプラノの齋藤希絵さんをお招きして、日本の美しい唱歌を演奏したいと思います。3部はまたピアノにもどり、エルガー作曲「愛の挨拶」リス

ト作曲「ラ・カンパネラ」です。「愛の挨拶」はエルガーが長年付き合っていた彼女と、婚約したときに彼女に送った作品です。「ラ・カンパネラ」は鐘の鳴る情景を描いた作品です。2曲続けてお聞きください。

（演奏）

今お聞きいただいた3人の作曲家についてご説明させていただきます。まず一人目バッハ、本名ヨハン・シュトラウス・バッハで、中世（1600～1700年代）バロックと呼ばれる時代に活躍したドイツのオルガン奏者です。オルガン奏者と申しますと教会のオルガン奏者です。電子オルガンでなくパイプオルガンの奏者でした。

次にお聞きいただいたエルガーですが、彼は時代がグッと近づきまして（1857～1934）、作曲家、音楽家であり教師でありバイオリニストなど様々な顔をもったイギリス人の作曲家です。彼は経済的な問題から正規な音楽教育を受けることがかわず、独学で音楽を習得した苦労の人でもありました。さきほどの「愛の挨拶」はそんな彼の不遇な時代を献身の思いをもって妻へさげたラブレターの曲と言われています。

リストはまた時代がさかのぼりまして、ロマン派、彼は最大にして最高のピアノリスト。ロマン派は200年ほど前ですが、その卓越した演奏技術はまるでアクロバチックな演奏を持ち味としていたのですが、その素晴らしいからピアノの魔術師という風に謳われています。彼はハンガリーの貴族階級に生まれました。

たのですが、若干6歳にして演奏活動を行うという神童振りを発揮しました。

次はピアノソロに戻りまして、寒河江さんの演奏でベートーベン作曲エリーゼのために、ショパン作曲ノクターン作品9の2を2曲続けてお聞きください。

（演奏）

続いて第二部に移ります。二部はソプラノの齋藤希絵さんをお招きしました。齋藤さんとは昨年の秋のコンサートで出会いました。今日はぜひ皆様に聞いていただきたいたくプログラムに入れさせてもらいました。それでは齋藤さんと一緒に演奏します。「からたちの花」をお聞きください。

（演奏）

●齋藤 希絵さん（ソプラノ）

ソプラノの齋藤希絵です。一曲目にお聞きいただきましたのが北原白秋作詞、山田耕柞作曲の「からたちの花」です。二人は一歳違いの同年代の人です。二人の幼い頃の原体験が元となってできた曲と言われています。本日はこのように今なお広く愛唱されており、日本の歌を中心に、オペラのアリアなどでも織り交ぜつつお送りしたいと思います。日本の歌を四曲続けて演奏させていただきます。椰子の実、浜辺の歌、紫陽花、ふるさとです。

（演奏）

続いて第三部に入ります。第三部は音色を変えてデュオに戻ってお送りします。まずは日本の初夏の歌をメロデーでお聞きください。

続いて大塚さんによるピアノ紹介があります。

（演奏）



●大塚 彩さん（ピアノ）

ピアノはなじみのある楽器ですが、起源は1600年代までさかのぼります。前身はチェンバロといいますが貴族階級にしか普及していませんでした。これをイタリアのチェンバロ職人が「強弱をつけられるチェンバロ」を発表。それからピアノフォルテと呼ばれる



よつになり、19世紀にはピアノと呼ばれ一般的に普及・発展してきました。ピアノの発展は何かと言つと強弱はもちろんですが、ひとえに鍵盤の数でした。発表された当時は36鍵、現在は88鍵存在します、一番高い音ド、一番低い音ファです。

続いて聞いていただくと「上を向いて歩く」とです。この曲は昨年の震災復興曲としても、大変多くの励ましを与えてくれました。私たちも音楽の持つ力を通して、微力ではありますが、お役に立ちたいと思います。それではお聞きください。

（演奏）

最後になりましたが、今日のための準備をしていて振り返ることがたくさんありました。小学生から中、高、大学生まで安全に安心して学んで来られましたのは、多くの皆様のお世話になったお陰と深く感謝しております。これからもますます会の発展とお客様の

日私学保連総会・研修会

7月12日・13日 岩手県盛岡市

副会長 佐藤 昭

（横浜創英中学高等学校後援会会長）

今年度の日私学保連総会は岩手県盛岡市で開催されました。台風の影響で強い雨が降っていましたが、会場のホテルが盛岡駅に近かったので助かりました。

全国から115名の参加があり、広い会場が満席になりました。最初に新延克己会長（福岡県）が挨拶し、来賓からは吉田 晋会長（日本私立中学高等学校連合会）の挨拶がありました。

今年のテーマは「今こそ私学から発信し生きる力を育む」復興—今、私たちにできること—です。東北地方の開催ということで、1年半を過ぎようとしている「東日本大震災」の被害や復興のよ

うすが、話題となりました。

1日目は総会、講演会と続き、最後に盛岡市の高校生による「弦楽演奏」と「さんさ踊り」の披露がありました。明るく元気な高校生の発表に、会場から大きな拍手がおこりました。

2日目の研修会は、「世界遺産平泉について」の演題で、岩手県立図書館長の講演がありました。午後の希望者による研修視察は、貸切バスで中尊寺・毛越寺を見学するコースでした。全体を通して、東北の岩手県らしい総会・研修会であったと思います。

健やかな成長をお祈りします。

最後の曲は「フエノスアイレスの冬」です。今、日本は爽やかなら月ですが、南半球アルゼンチンは冬です。それでは「フエノスアイ

すばらしいコンサートを鑑賞して

理事 金子 晃久

（高木学園女子高等学校PTA会長）

正面の舞台上にピアノが一台置かれると、会場内にコーヒの香りが漂い始めました。ほどなく司会の小川理事の紹介により、眩い輝きのドレスで寒河江真弓さんが登場しました。

最初のピアノ演奏が始まると会場の空気は一変し、コーヒを持つ手も止まり、誰もがピアノ演奏に耳を傾けるのでした。もうひとりのピアノ演奏者の大塚彩さんは寒河江さんから紹介されて登場し、今度はお二人によるピアノの連弾です。すると音の厚みと密度が増し、会場の耳を更にひきつけました。

「レスの冬」をお聞きください。（演奏）

次にソプラノ歌手の齋藤希絵さんが寒河江さんから紹介され、「からたちの花」ふるさと」など、誰もが知っている日本の歌を聴かせていただきました。その澄んだ歌声は聴衆の心を揉みほぐすには十分なクオリティを持っていました。またソプラノの中でも一番高い声を聴かせていただいた瞬間は、頭の先から入ってきた歌声が私の身体を突き抜けて行く錯覚を覚えたくらい感動しました。演奏された曲目はどれも聞き覚えのあるものばかりで、先ほどまで行われていた議事の緊張感は消え失せ、ほんのひとときですが定時総会参加者の心を別世界へ連れて行ってくれたとても素敵な演奏会でした。

関東地区代表者会・研修会

8月29日 群馬県高崎市

神奈川県市川会長が関東地区会長に就任

8月29日、群馬県高崎市において、関東地区私学保護者会連合会の代表者会及び研修会が開催されました。始めに、今年度、関東地区の会長に就任した神奈川県の市川昌廣会長から挨拶がありました。

協議に入り、関東地区の会則の改正につ

いては「役員の任期を一年とする」案が可決されました。また、各県の「優



秀生徒の表彰制度」と「特色ある取組」について情報交換をしました。

研修会では「軸足を学校に」という演題で、関東学園大学の教育顧問である石原 保先生の講演がありました。「中学・高校時代は人生の黄金期である。学習・部活動・読書によって、生徒は自ら考える力、人との関わり、思考力を高めることができる。それが可能な場所が学校である。」というお話でした。

最後の懇親会は、関東地区6県の役員が一同に集まり、順番に各県の紹介をするなど、和やかな雰囲気の中に終了しました。次期の開催は栃木県になります。

特集1

「脱法ハーブ」にダメされないで！

神奈川県

■脱法ハーブは危険！

脱法ハーブは乱用すると、命にかかわる大変危険な薬物です。健康被害が若者を中心に増加しています。4月には、横浜市内の20代男性が脱法ハーブを吸引し、急性薬物中毒の疑いで死亡しました。

脱法ハーブ使用後に救急搬送されたり、交通事故を起こしたり、死亡した事例も発生しています。



■脱法にダメされないで

脱法ハーブは、「合法ハーブ」や「お香」「違法薬物が入っていません」などと称して販売されています。「人体には摂取しないこと」などをうたい、本来の使用方法を隠ぺいして、販売されています。



麻薬に似た幻覚や興奮の作用を期待して使用されています。

インターネットのサイトや店舗で売られているから安心できるという訳ではありません。

「合法」「脱法」という言葉にダメされないでください。



■脱法ハーブの中身

一般的なハーブとは違い、乾燥させた植物片に薬物が添加されたものです。

薬物の中身は、薬事法に規定する「指定薬物」や麻薬などに似た成分で、有害な作用や習慣性を持つものもあります。

また、麻薬や指定薬物など法律で禁止されている薬物が含まれていることもあります。



■ダメなものはダメ。

たとえ、友達や先輩や知り合いから脱法ハーブの購入や使用を勧められても、「はつきりと断わる勇氣」、インターネットのサイトを見ても、「やらない勇氣」を持つことが、薬物の魔力から自分の子どもや自分の人生を守ることになります。

「やらない勇氣」を持つことが、薬物の魔力から自分の子どもや自分の人生を守ることになります。



■自分を大切に

脱法ハーブは人生を壊します。

興味本位や遊び感覚で手を出したりすると、一度の過ちが、将来に大きな影響を与えます。

たった一度の人生を大切にしていって、強く豊かな生き方をいきましょう。

■まずは相談を

相談は匿名で受け付けています。保護者のみなさまも薬物に関してご心配なことがありましたら、勇氣を出してご相談ください。



かながわの薬物相談

検索

(問い合わせ先)

神奈川県保健福祉局 生活衛生部薬務課
献血・薬物対策グループ
☎045(210)4972

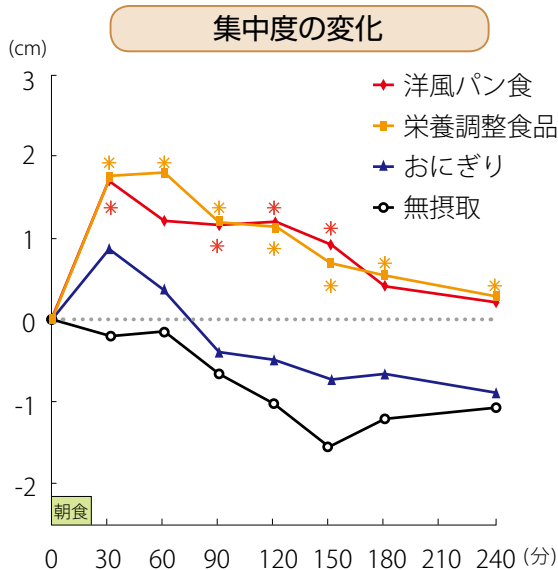
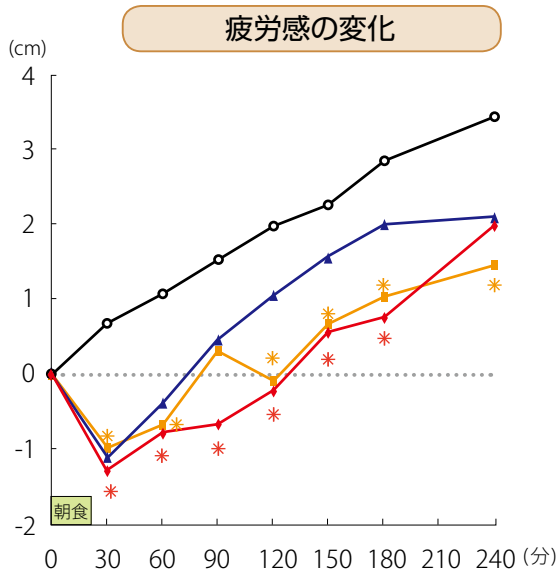
昨年も「食育を考える」を特集しましたが、今回はその2回目として「栄養バランスのとれた食事」を取り上げました。

大塚製薬・横浜支店には、4月の「神奈川私立中学相談会」（6年連続）、及び7月の「神奈川全私学（中高）展」（12年連続）で、無料かつ手弁当で、暑い中を来場していただいた生徒・保護者の皆様に相当量の飲料を提供していただいております。今年も「食育」について、大塚製薬に原稿をお願いしました。

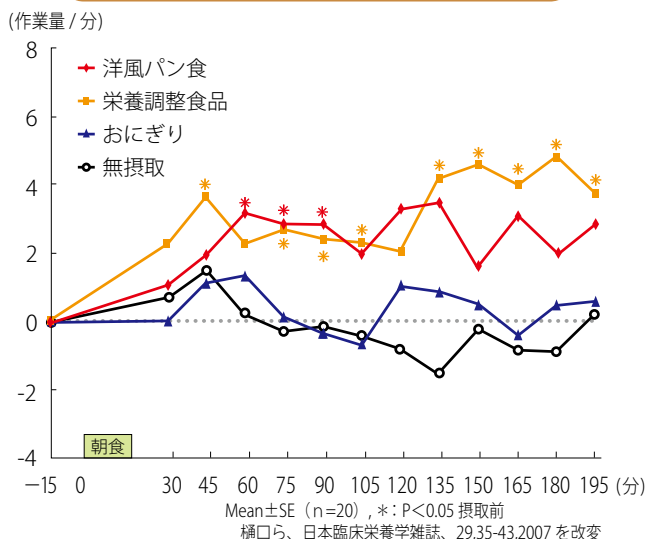
「早寝・早起き・朝ご飯」と言われていますが、栄養バランスのとれた朝食を食べるように努力したいものです。

集中力アップの決め手は、栄養バランスのとれた食事！

これまで脳の細胞はブドウ糖だけをエネルギー源としていると信じられてきましたが、脳の活性化には糖質だけでなく、栄養バランスが大切であるという事実が初めて証明されました。大切な時に、集中力を欠いて力を発揮できなかった……。なんてことにならないために、バランスの良い朝食を食べるように心がけましょう。



朝食摂取前からの暗算作業量の変動



VAS法：現在の疲労感や集中度を、スケール上で自分の状態にあった位置に縦線を引き、の長さを測定する方法。

全く疲れていない ? cm 非常に疲れた

これらのグラフは、健康成人男性を対象に、栄養バランスの良い朝食（洋風パン食）、栄養調整食品、おにぎり（具なし）、あるいは何も食べなかった場合で、自覚症状（疲労感・集中度）および知的作業能力に及ぼす影響を検討した結果です。

栄養バランスのよい朝食・市販の栄養調整食品を食べた場合には、何も食べなかった場合と比べ、疲労を抑え、集中度および知的作業量を高めることが証明され、バランスのとれた朝食の重要性が示されました。

特集2

食育を考える



栄養に関する出張講座（無料）開催校募集！！

- テーマ：朝食における栄養バランスの重要性について（所要時間：30～40分）
- 対象：神奈川県内私立中学・高校の生徒・教職員・保護者の方（1組20名以上。50組まで。）
- 実施期間：2012年10月～2013年1月末まで
- 実施費用：無料（講師は、弊社栄養情報担当者・学術担当が担当いたします）
- 申込方法：必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。
（①学校名、②所在地、③参加者・人数、④ご担当者名、⑤ご担当者ご連絡先）

お申込みは **FAX：045-314-5326**

申込み締切日 平成24年11月末日

お問合せ：大塚製薬(株)横浜支店 TEL：045-314-6391 担当：企画課（平日：9：00～17：30）

- 実施日程につきましては、弊社担当者よりご連絡させていただきます。
- ご応募頂いた個人情報、本催事の運営上必要な事項にのみ使用し、それ以外には使用致しません。

県いじめ・暴力行為問題

副会長 玉 園 篤 敏
(平塚学園高等学校校父の会会長)

平成24年度第一回(通算第48回) 神奈川県いじめ・暴力行為問題対策協議会が、7月9日(月)に私学会館にて開催されました。出席者は、神奈川県学事振興課より市川範朗教育指導総括・萩谷英明教育指導主任、私学中学高等学校協会より工藤誠一理事長以下七名の関係諸氏、私学保護者会連合会より市川昌廣会長以下担当役員の方々でした。会は、市川総括・萩谷主任の両氏より次の五項目について情報提供がなされた後、協議に移りました。

- 1 私立学校における不登校・長期欠席の状況
- 2 私立学校におけるいじめの発生状況
- 3 私立学校における暴力行為の発生状況
- 4 薬物乱用防止教育の推進
- 5 児童生徒の自殺が起きたときの背景調査のあり方

1・3については、現場の先生方の努力によって、発生件数は減少し、多くが改善されたことでした。一方、携帯電話、スマートフォン、インターネット等電子機器を使いたいじめ、誹謗、中傷、書き込み等といった内容の多様化が急速に進んでいる傾向があるようです。又、1・5については、その根底にある当事者達の心の問題は、非常にデリケートで、深い闇の中に存在するものであって、容易に把握し、改善の方向に指導することは、なかなか困難な問題でもあるようです。しかし、先生方は、「気になる生徒」に気を配り、生徒からの発信を受け止めることが出来るよう、日々教育活動の現場で努力を重ねて下さっているとのことでした。心から感謝申し上げます。

感想として、バワハラ・セクハラが深刻化している現在、これらの問題は、ただ生徒達だけのものではなく、我々大人達の問題でもあると痛感した次第です。

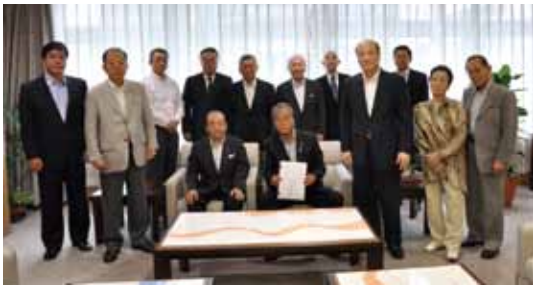
県議会議長へ請願

「経常費助成費補助」に関する署名提出

厳しい残暑が続く中、9月11日に私立中学高等学校協会と私学保護者会連合会の役員12名が県庁を訪問し、保護者負担の軽減と教育条件の維持向上のため、私学への県費助成の増額を要請しました。

8月に中高協会の加盟校にお願いした「経常費助成費補助」に関する署名は、全加盟校から245名が集まりました。中高協会の工藤誠一理事長と保護者会連合会の市川昌廣会長が代表して、新しく就任された竹内英明県議会議長に提出しました。

神奈川私学は、全国的に見ると生徒一人あたりの「経常費助成費補助」は、高等学校で全国ワースト3位、中学校でワースト2位という非常に低い水準にあります。



神奈川県に学ぶ生徒たちが、保護者の経済状況に左右されず、より自由に学校選択ができる教育環境をつくるためにも、私学の助成は極めて重要なことと考えます。これから「経常費助成費補助」を求める取組について、全加盟校のご協力をお願いします。

主な諸行事出席状況

- ◆5月15日(火) 平成23年度5月理事会(最終) 私学会館
- ◆5月25日(金) 平成24年度「定時総会」 ホテル・キャメロット
- ◆6月19日(火) 首都圏私学協議会・高校進学協議会 東京市ヶ谷(市川会長)
- ◆6月27日(水) 日私学保連関東地区代表者会 群馬県高崎(市川会長)
- ◆7月9日(月) いじめ暴力行為対策協議会 私学会館(市川会長、佐藤・玉園副会長、深沼理事)
- ◆7月12日(木) 13日(金) 日私学保連総会・研修会 岩手県盛岡(市川会長、佐藤副会長、橋本顧問)
- ◆7月16日(月) 「2012全私学(中・高)展」 パシフィコ横浜(市川会長、以下5名)
- ◆7月20日(金) 28日(土) 社会環境健全化推進街頭キャンペーン(原・市川理事)
- ◆7月26日(木) 27日(金) 事務長会夏季研修会 熱海後楽園ホテル(市川会長、佐藤副会長、橋本顧問)
- ◆8月20日(月) 21日(火) 理事長・校長研修会 箱根湯本富士屋ホテル(市川会長、佐藤副会長、橋本顧問)
- ◆8月29日(水) 日私学保連関東地区総会・研修会 群馬県高崎(市川会長、以下7名)
- ◆8月30日(木) 公私立高等学校協議会 神奈川県庁(市川会長)
- ◆9月11日(火) 県議会議長への請願 神奈川県庁(市川会長、以下4名)
- ◆11月5日(月) 私学保連諸行事予定
- ◆12月4日(火) 保護者会連合会・交流会「研修事業Ⅰ」 東京スカイツリー(市川会長、石田代表、以下約90名)
- ◆12月4日(火) 私学振興全国大会 日比谷公会堂

神奈川県私立中学高等学校案内 ホームページ

<http://www.phsk.or.jp>

●内容 学校情報・入試情報・英文情報・学費補助

■発行者 『神奈川県私学保護者会連合会』

〒221-0833

横浜市神奈川区高島台7番地5 神奈川県私学会館内

☎045(321)1901

■印刷所 『有限会社 イソノ』

〒235-0016

横浜市磯子区磯子3-10-4

☎045(753)2549